

令和元年7月8日（月）

令和元年度第1回日進市行政改革推進委員会 資料2

事務事業型シート

資源ごみ回収推進事業

（環境課）

令和元年度【評価対象年度：平成30年度】事務事業評価シート

事務事業名		資源ごみ回収推進事業	コード	2222201
担当部課・施設名		市民生活部・環境課	責任者	加藤 慎司
			連絡先	0561-73-2883
総合計画体系	基本目標	02	安全・安心で自然と共生した暮らしの実現	
	節	02	環境	
	基本施策	02	ごみの適正処理と再資源化の推進	
	単位・個別	22	ごみ再資源化の推進 資源回収拠点の充実	
事務事業の目的と内容				
市民に対して、可燃ごみと不燃ごみの中から資源を分別することが、ごみの減量化のみならず資源化にも繋がることをPRし、資源ごみ(びん・缶等)を回収する。				
前年度に取り組んだこと				
不燃ごみから陶磁器・ガラス類を資源として分別回収を始めた。また、リサイクルに適さないものの混入がなくなるように、資源袋を透明化した。				

事業費	29年度	30年度	30年度	令和元年度
単位:千円	前々年度決算額	前年度予算額	前年度決算額	当年度予算額
事業費	171,419	184,260	166,376	183,602
特定財源	17,725	19,527	17,194	17,901
市費投入額	153,694	164,733	149,182	165,701

主な内訳
【事業費】雇人費796千円、普通旅費46千円、消耗品費8,542千円、手数料1,162千円、委託料143,100千円、有料道路使用料5千円、負担金390千円、補助金12,335千円
【特定財源】手数料17,194千円

アウトプット指標

指標名	資源ごみ量(エコドーム分除く)(t)			
指標データ	前々年度実績	前年度目標	前年度実績	当年度目標
	5,085.00	5,400.00	5,210.00	5,400.00

アウトカム指標

指標名	1人あたりの処理費用(千円)			
指標データ	前々年度実績	前年度目標	前年度実績	当年度目標
	1.90	1.88	1.83	1.81

式 総事業費/人口

指標の狙い

資源ごみの回収はごみの減量及びリサイクルの推進をする上で大切であるが、収集や処理に費用がかかる。少しでも費用を下げることで、効率的な資源ごみの処理に繋がると考える。

評価

評価結果	評価の理由
B 現状のまま継続	エコドーム以外の資源回収ステーションでの回収量は5,085tから5,210tに増加し、県内のリサイクル率は上位を保っている。資源回収量の増加は、市民がリサイクルを心がけているためと考えられる。

成果・課題

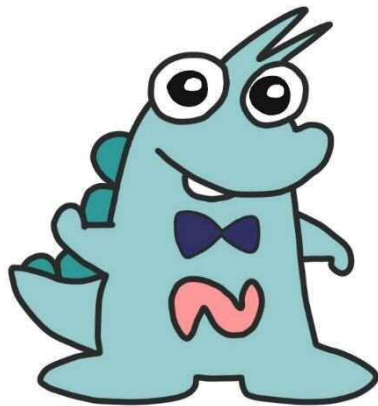
不燃ごみについて金属類を資源物として収集を開始し、再資源化に適さないものの混入がなくなるように、資源袋を透明化した。また、分別方法の変更について、地域等からの要望に応じて説明会を実施し、電話での問い合わせに対しても丁寧な説明に努め、その浸透を図った。

当年度中に実施する具体的な改善内容

陶磁器・ガラスの分別収集を開始して1年が経過したことで分別方法の変更について定着し始めている。今後についても、市民への丁寧な説明に努め、資源化への理解を促しリサイクルを促進する。

令和元年度事務事業の外部評価（事務事業型）

資源ごみ回収推進事業



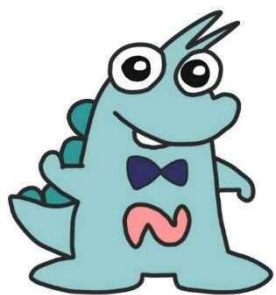
担当部課：市民生活部 環境課

令和元年 1 1 月 1 1 日

【目次】

- 第1 はじめに
- 第2 事業の概要
- 第3 他市との比較
- 第4 プラスチックごみを取り巻く社会状況
- 第5 事業の課題
- 第6 今後の取組案
- 第7 おわりに

第1 はじめに



1 はじめに(なぜ、この事業を選択したか)

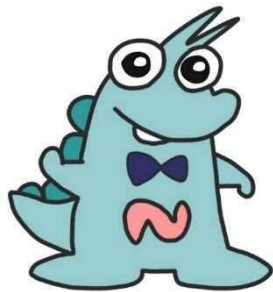


日進市では、ごみの減量と資源化を図ることを目的に、「資源ごみ回収事業」として、集積所や資源回収場所において、びん・かん・プラスチック製包装容器・陶磁器・ガラスなどを収集していますが、資源回収量について近年横ばい状態であります。

限られた予算の中で、より効果的なごみと資源の取り扱いについて、現状と課題を整理しつつ検討したいと考えております。

今後、資源ごみ回収推進事業の改善を図るために、委員の皆さまから、より効果的な回収方法についてご意見をいただきたいと思っております。

第2 事業の概要



2 施策体系



第5次日進市総合計画における位置づけ

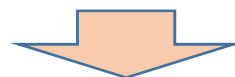
◆基本目標2 安全・安心で、自然と共生した暮らしの実現



第2節 環境 — 1 ごみの適正処理と再資源化の推進 【大施策】



ごみ再資源化の推進 【中施策】



資源回収拠点の充実 【小施策】

市民が資源ごみを出しやすい環境を整えることで、ごみが減少し、
ごみの再資源化が進むことにより、環境負荷が軽減される。

2 事業の概要



(1) 対象

全ての市民

(2) 内容

市民が分別した資源を、市が収集し、中間処理を経て、リサイクル施設においてリサイクルする。

(目的)

ごみの中から資源を分別することにより、ごみの減量化や資源化につながる。

2 事業の経緯



年度	取組状況
平成7年	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律施行
平成9年～	びん・かんを収集開始
平成14年～	プラスチック製容器包装を収集開始
平成29年～	発火性危険物（スプレー缶・使い捨てライター）を収集開始
平成30年～	「燃えないごみ」から陶磁器・ガラスを資源として回収することとし、「燃えないごみ」を「資源ごみ（金属ごみ）」へ名称変更し、収集回数を月2回から1回へ変更

2 事業費(予算・決算額)



◆予算額(主な内訳:
消耗品費・委託料・補助金)

平成30年度予算額 184,260千円

平成29年度予算額 188,768千円

平成28年度予算額 166,142千円



◆決算額(主な内訳:
消耗品費・委託料・補助金)

平成30年度決算額 168,040千円

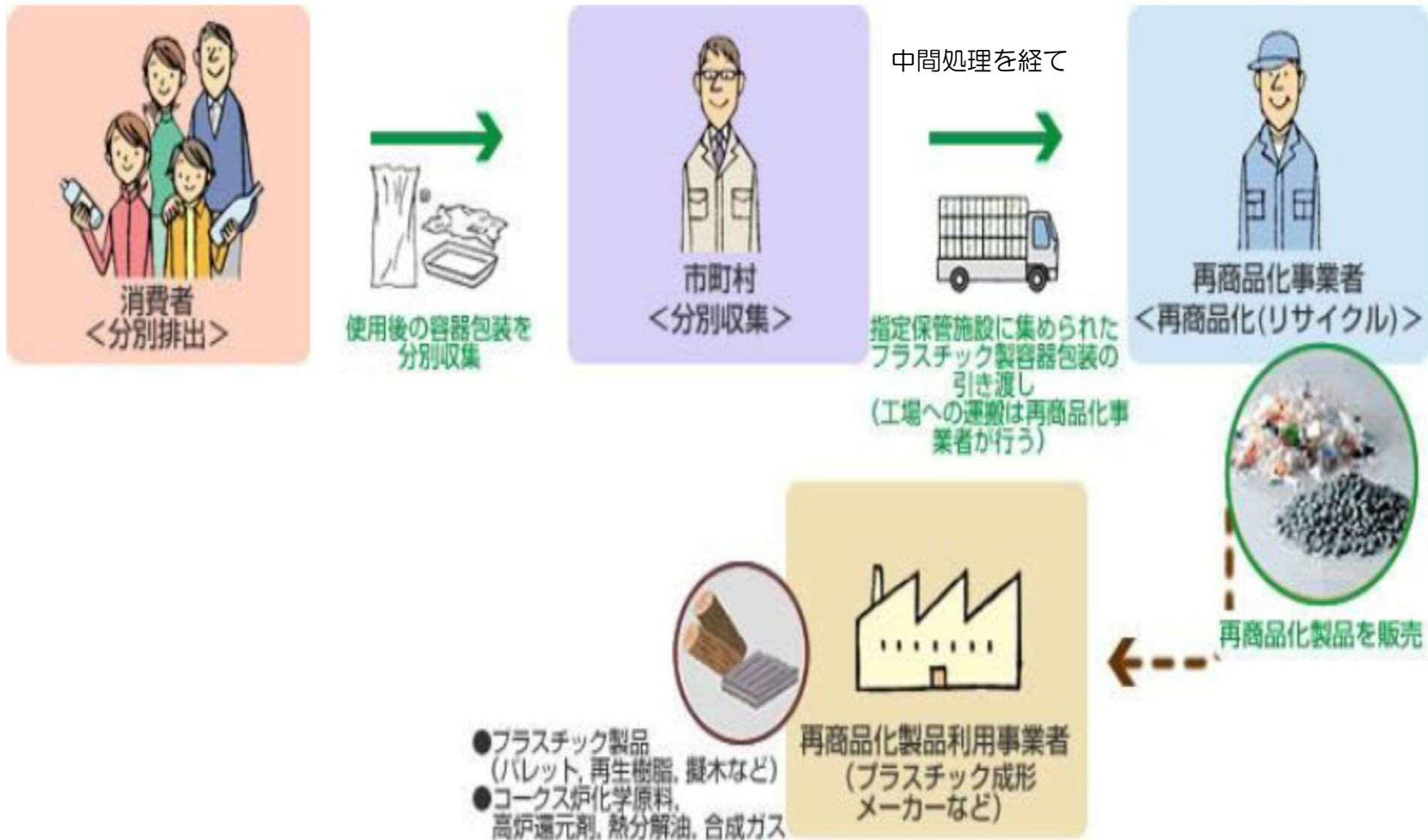
平成29年度決算額 171,419千円

平成28年度決算額 151,209千円

2 事業のイメージ



プラスチック製容器包装のリサイクル



出典: 公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会

2 本市の取組み



本市では、平成14年度からプラスチック製容器包装を市内のごみ集積所において週1回収集し、プラスチックごみ削減に努めている。

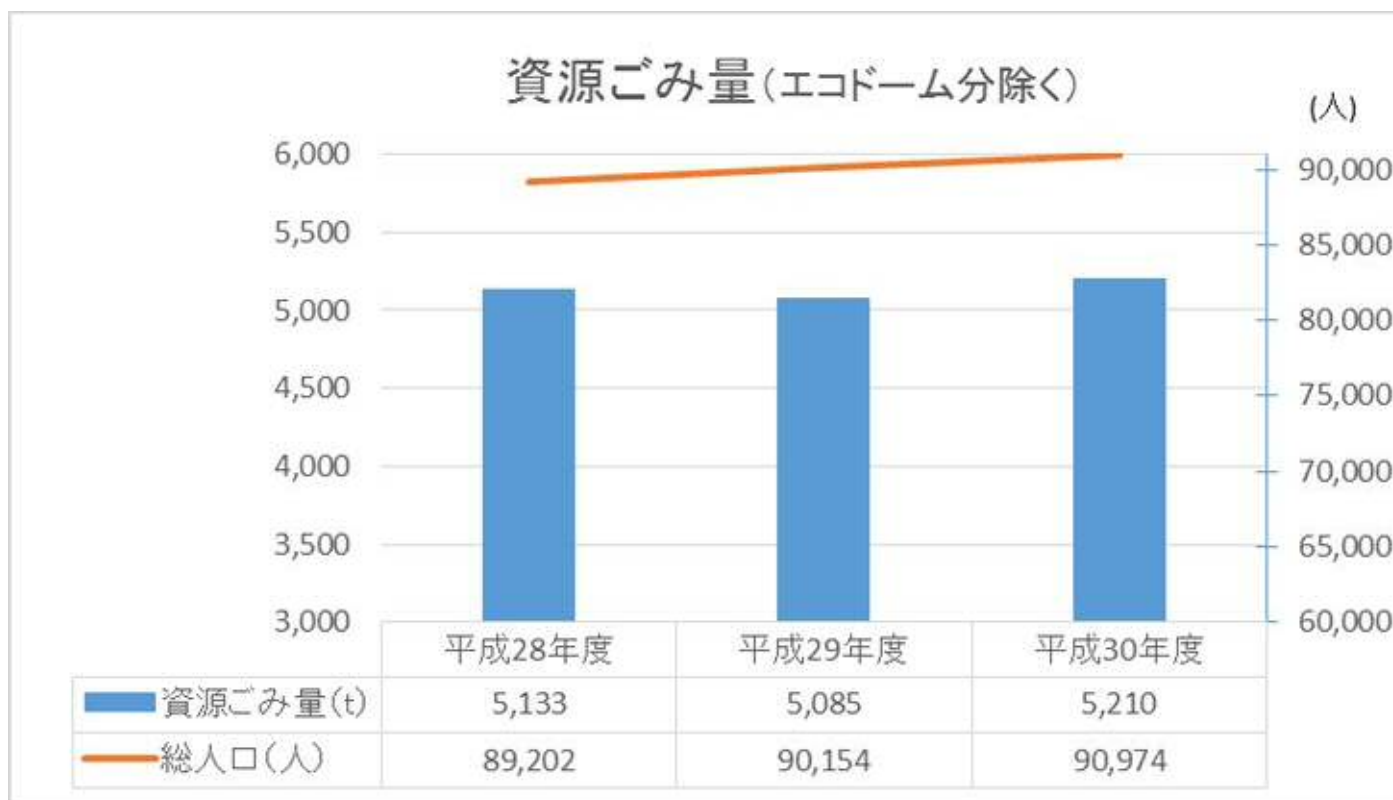


2 アウトプット指標①



◆指標 資源ごみ量 (びん・かん・ペットボトル・新聞・雑誌雑紙・ダンボール・プラスチック製容器包装・古布・小型家電など)

家庭から出る資源ごみの排出量の推移を把握するため指標としたもの。

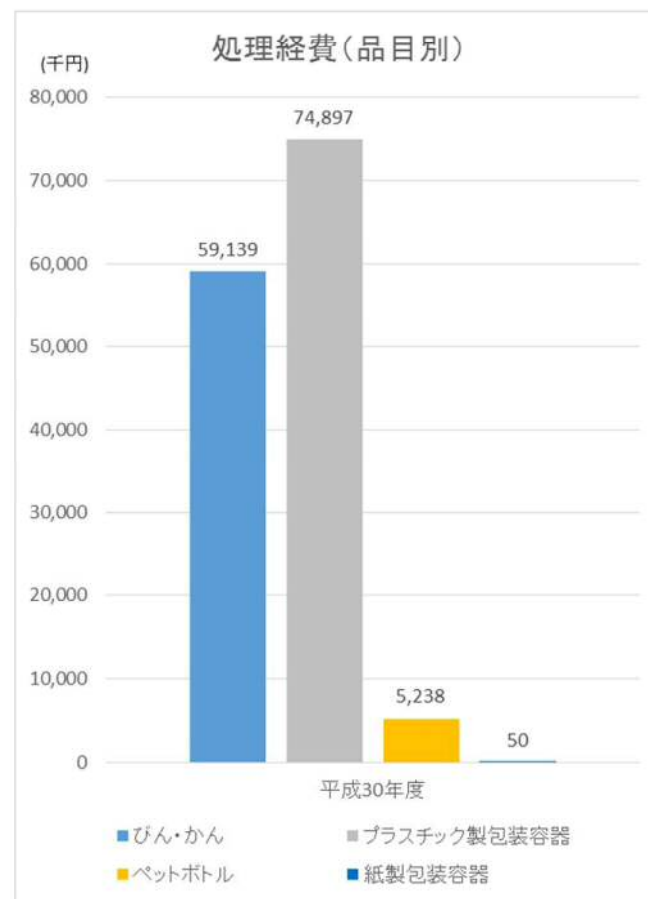
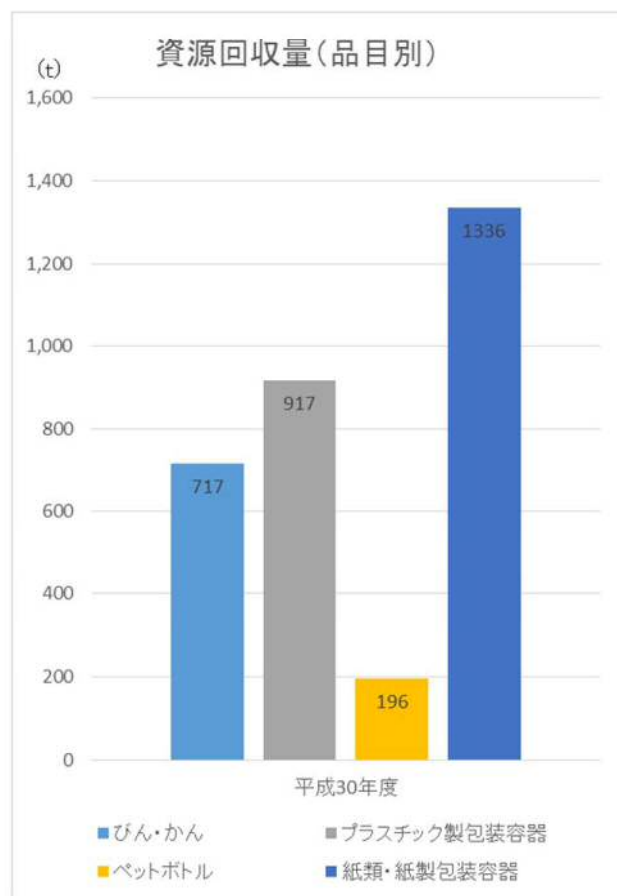


2 アウトプット指標②



◆指標 市内の資源ごみ回収量と経費

市内の資源ごみ回収量と経費を把握するため指標としたもの。

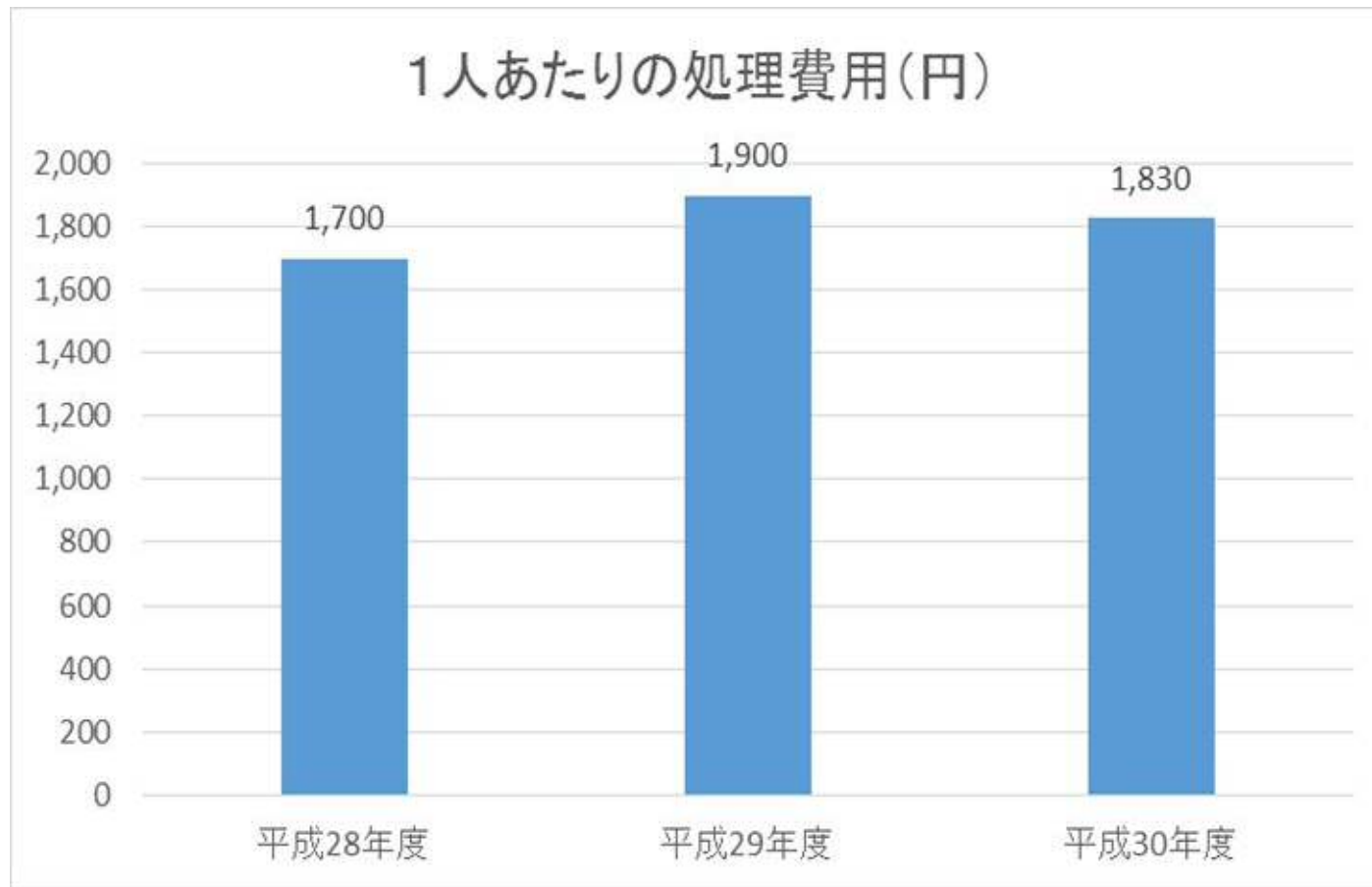


2 アウトカム指標①

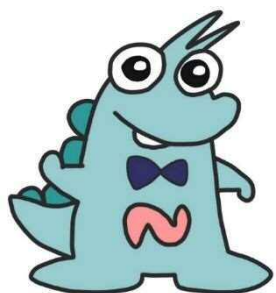


◆指標 市民1人あたりの資源ごみ処理費用

市民1人コストを把握するため指標としたもの。(総事業費/人口)



第3 他市との比較



3 他市との比較



近隣市のプラスチック製包装容器収集量及び費用

平成30年度		日進市		尾張旭市		長久手市		豊明市		みよし市	
収集量		916,350	kg	555,130	kg	325,940	kg	679,572	kg	100,220	kg
処理費用		74,896,758	円	38,535,977	円	18,733,329	円	106,849,512	円	13,956,192	円
	収集運搬費	40,258,728	円	20,250,000 ※1	円	7,290,000 ※2	円	75,589,200 ※3	円	11,755,800 ※1	円
	中間処理費	34,638,030	円	18,285,977	円	11,443,329	円	31,260,312	円	2,200,392	円
歳入		0	円	9,096	円	0	円	0	円	0	円
収集状況	収集箇所数	約1,700箇所		約1,000箇所		戸別回収		約2,200箇所		2箇所	
	収集回数	1回/週		1回/週		1回/隔週		1回/週		毎日	

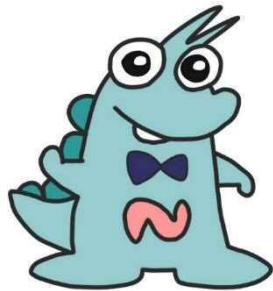
※1 収集運搬費(プラスチック・びん・缶・ペットボトルを含む)

※2 一部地区では収集運搬を職員が実施。

※3 収集運搬費(プラスチック・びん・缶・ペットボトル・紙類を含む)

※4 瀬戸市は未実施

第4 プラスチックごみ を取り巻く社会状況



4 プラスチックごみを取り巻く社会状況



◎平成29年末に中国がプラスチックごみ（廃プラスチック）の輸入を禁止する。



企業から排出される廃プラスチックが、国内リサイクル処理事業所に大量に滞留

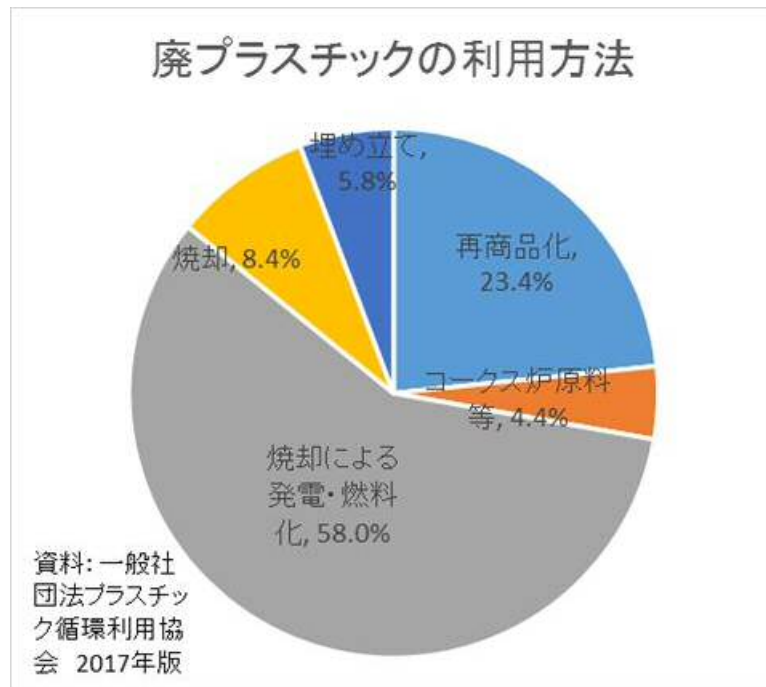


環境省が自治体に対し、企業から出る廃プラスチックを自治体が引き受けて焼却処分を要請

◎海洋プラスチックの問題

近年、海洋中のプラスチックによる生態系を含めた海洋環境への影響が懸念されている。

4 プラスチックごみを取り巻く社会状況



焼却による温室効果
ガスの排出量増加
が懸念される

◎廃プラスチックのうち

プラスチック製容器包装の再商品化 23.4%
焼却による燃料化か単純に焼却 66.4%

◎近年、焼却施設の技術革新により、ごみ焼却によるダイオキシンの発生が抑制されている。

4 プラスチックごみを取り巻く社会状況



廃プラスチックに対する取り組み

世界では

◎G7伊勢志摩サミット（平成28年5月）首脳宣言

3Rの取組がプラスチックごみの発生抑制や削減に寄与し、海洋ごみに対処することを再確認

◎G20大阪サミット（令和元年6月）

2050年プラスチック海洋流出ゼロを目指す

4 プラスチックごみを取り巻く社会状況



国内では

◎第4次循環型社会形成推進基本計画（平成30年6月）

- ・プラスチック資源循環戦略
- ・海洋プラごみ対策アクションプラン
リデュースの徹底、バイオマスプラスチック導入

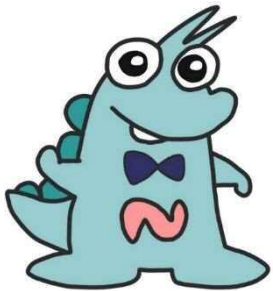


2035年までに使用済みプラスチック100%の有効活用を目指す

◎海岸漂着物処理推進法改正（平成30年6月15日成立）

- ・漂流ごみ等の円滑な処理の推進
- ・3Rの推進等による海岸漂着物等の発生抑制
- ・マイクロプラスチック対策 を規定

第5 事業の課題



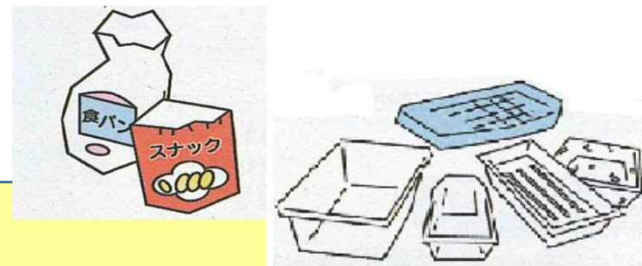
5 事業の課題①



【課題①】

プラスチック製容器包装のリサイクル費用の膨大化

◎プラスチック製容器包装リサイクルに膨大なコストがかかる。



平成30年度決算

約7,500万円（収集運搬・中間処理費用）

5 事業の課題②

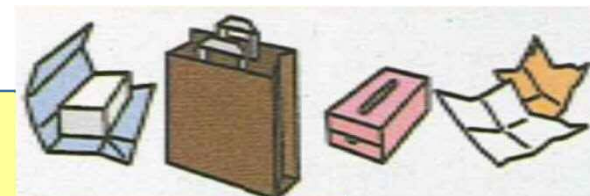


【課題②】

リサイクル可能な紙類の資源化の推進
(日進市一般廃棄物処理基本計画による)

◎リサイクル可能な紙類が可燃ごみ全体の
5.1%を占めている。

(本市ごみ組成調査の結果)



想定量 可燃ごみ年間排出量 (H30実績)

$$14,046\text{トン} \times 5.1\% = 716.3\text{トン}$$

5 事業の課題③



【課題③】

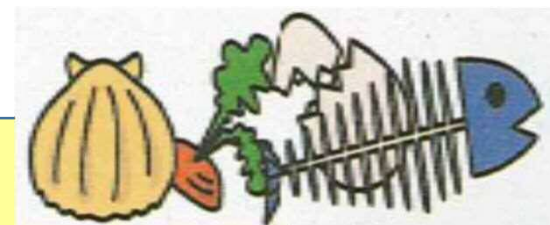
ごみの最終処分量の低減

◎生ごみが可燃ごみ全体の54.67%を占めている。

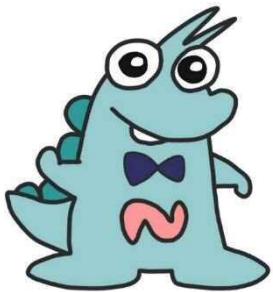
(本市ごみ組成調査の結果)

想定量 可燃ごみ年間排出量 (H30実績)

$$14,046 \text{トン} \times 54.67\% = 7,678.9 \text{トン}$$



第6 今後の取組案



6 今後の取組案①



課題①に対して



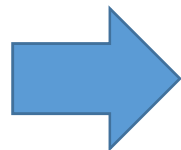
現在行っているプラスチック製容器包装の回収内容を再検討する。

★プラスチック製容器包装の収集回数（毎週⇒隔週）を変更することにより、コストカットを図る。
（プラスチックの資源化が望ましいが、財政的な負担が大きいため。）



委託料の削減は見込めるが、尾三衛生組合負担金は増額

仮にプラスチック
（H30実績 917
トン）を全部可燃
ごみとして処理す
ると...



尾三衛生負担金（令和元年度予算で試算）
約450万円の増額

リサイクル費用（再掲）
約7,500万円の減額 になる。

6 今後の取組案②



課題②に対して



リサイクル可能な紙類の収集を開始する。

★可燃ごみに含まれる多量の紙類を分別収集することにより、リサイクル率の向上とごみの減量を図り、経常経費の削減に努める。

紙類リサイクルはプラスチック製包装容器よりもコストがかからないと考えられる。

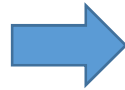
想定量（H30実績）

可燃ごみ年間排出量14,046トン×5.1%＝△716.3トン

6 今後の取組案③

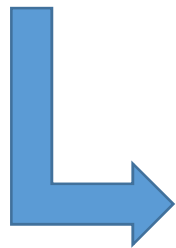


課題③に対して

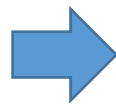


家庭系生ごみの1日1人あたり5%
減量の推進する。

★水切りダイエット、フードドライブ、30・10運動
などを推進することにより生ごみの削減に努める。



可燃ごみ
の減量



尾三衛生組合
への負担金減
額



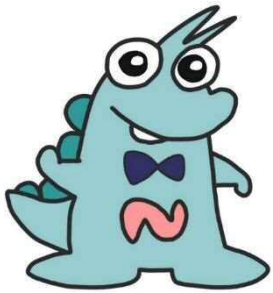
最終処分場
の延命

につながる

想定量 (H30実績)

家庭系生ごみ量 $7,678.9\text{トン} \times 5\% \text{減量} = \Delta 383\text{トン}$

第7 おわりに



7 おわりに



今回、委員の皆様からご意見をいただき、限られた予算の範囲内で有効な資源回収とごみの減量を実施していきたいと思えます。

例えば・・・

★プラスチック製容器包装をとりまく社会情勢
と市の施策の整合性について

★より費用対効果が出る事業の推進について

などについてご意見をいただければ幸いです。

テーマ型シート

**多様な媒体・方法による広報活動の推進
～映像番組制作事業からみる課題～**

(秘書広報課)

令和元年度事務事業の外部評価(テーマ型)

多様な媒体・方法による広報活動の推進 ～映像番組制作事業からみる課題～

担当部課:企画部秘書広報課

【目次】

- 第1 はじめに
- 第2 テーマの概要
- 第3 本市の取組状況
- 第4 他市の取組状況
- 第5 課題
- 第6 今後の取組案
- 第7 おわりに

第1 はじめに

1 このようなツールで情報発信しています

本市では、多くの市民に市政情報を伝えるため、多くの手段を使って情報発信しています。

広報紙



【広報にっしん】
月1回発行
発行部数 約39,000部/月
全世帯に直接配布
※ポストなどに投函

ホームページ



【日進市ホームページ】
公開ページ 約5,000ページ
ページビュー 31万/月

その他



【声の広報】
視覚障害のある人などを
対象に音声データを郵送

【広報紙のアプリ配信】
アプリ「マチイロ」を使っ
て広報紙を配信

【にっしんお知らせメール】
様々な情報を配信する総合お
知らせメール

SNS



・フェイスブックページ
まちの話題を発信
・ツイッター
緊急情報を発信
・YouTube
市で制作した動画（にっしん
テレビ、プロモーション動画
など）を配信

動画



動画（にっしんテレビ
※10分/本 2本/月）
を制作。ケーブルテレビと
インターネットで放送・
配信

報道機関へ情報提供

【情報提供】
市政情報などを報道機関に
提供 約1,700件/年

【定例記者会見】
年4回
記者クラブに情報発信

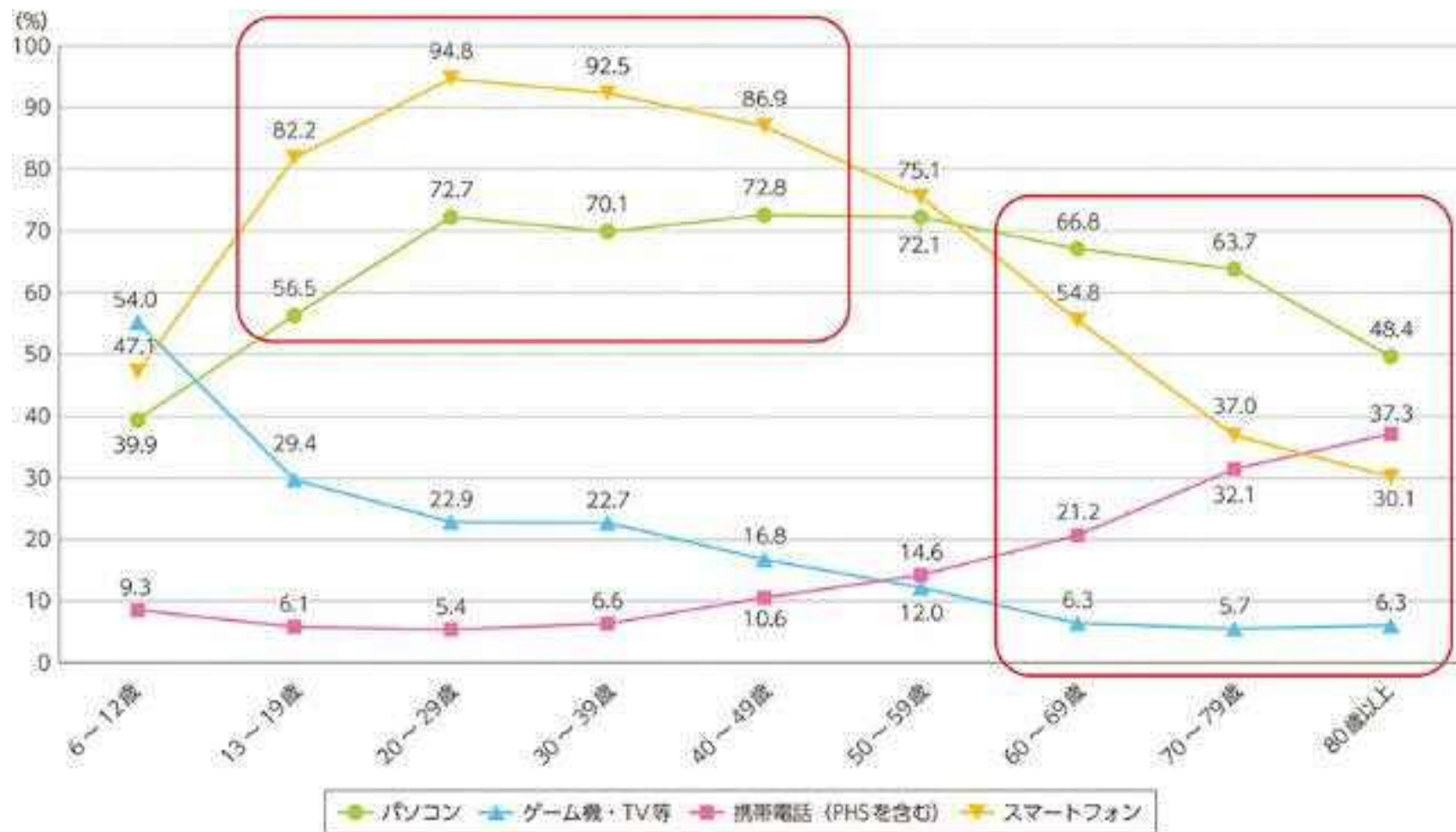
1 「時代に合った」情報提供方法は？

現在、個人のインターネット利用率は約8割で、6割近くの人はスマートフォンでインターネットを利用しています。（「平成30年版情報通信白書」より）
この十数年で個人を取り巻くインターネット環境は大きく変わっています。自治体の「情報発信手法」も、環境に合わせて考えていく必要があります。



今回のテーマでは、スマートフォンで情報を得る人が増えている中、**秘書広報課が行う「映像番組制作事業」の課題**を基に、細やかな市政情報の提供と日進市のPRをどう展開すべきか、委員の皆さまからご意見をいただきたいと思っております。

平成30年度版情報通信白書 (インターネット利用状況)



第2 テーマの概要

2 施策体系

第5次日進市総合計画における本テーマの位置づけ

◆基本目標6 市民自治力と行政経営力の向上

第1節 広報・広聴と地域情報化 — 1 広報・広聴 【大施策】

広報活動の充実 【中施策】

①ホームページの充実 【小施策】

②広報にっしんの充実

③多様な媒体・方法による広報活動の推進

2 本テーマの概要

多様な媒体・方法による広報活動の推進

(1) 対象

日進市の情報を求めている人

(2) 内容

広報紙、ホームページ、SNS、映像番組を使って、市政情報を伝える。

(目的)

市内外の方に、さまざまな方法・媒体で市政情報をわかりやすく、確実に伝えることにより市政への関心を高めるため。

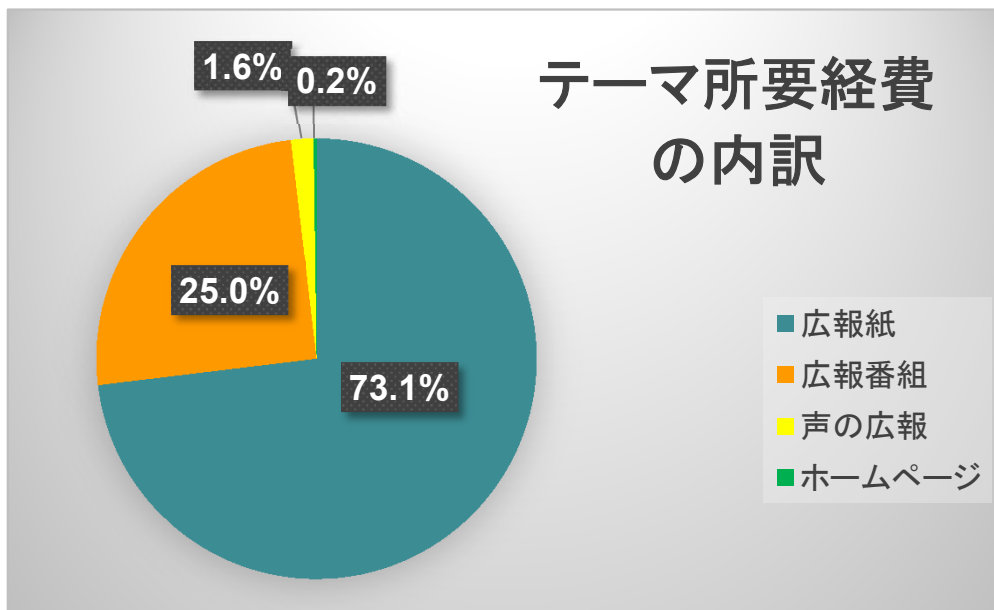
第3 本市の取組状況

3 テーマの経緯（取組状況）

年度	主な取組状況
昭和46年～	広報にっしん発行
平成11年～	市ホームページ開設
平成11年～	にっしんテレビ制作・ケーブルテレビで放送開始
平成27年～	フェイスブックページ、ツイッターを開設
平成28年～	にっしんテレビをYouTubeで配信

3 テーマの所要経費（平成30年分）

年度	歳出	歳入
広報紙制作業務委託料	1138万2012円	広告収入あり（年間約148万円）
広報紙配達業務委託料	1193万5146円	
声の広報録音・複製・配達業務委託料	49万2480円	
広報番組制作業務委託料	648万円	
広報番組ケーブルテレビ放送業務委託料	100万4400円	
ホームページ関連事業費	166万6321円	広告収入あり（年間約160万円）



【費用比率】

- ・広報紙→約73%
- ・にっしんテレビ→約25%
- ・ホームページなどその他→約2%

3 アウトプット指標（活動指標）

【活動指標】事務事業評価の各指標

媒体	指標	H30年分実績
広報にっしん	年間発行部数	472,540部
ホームページ	修正・更新回数	3,289回
にっしんテレビ	年間製作本数	24本

3 アウトカム指標（成果指標）

【成果指標】市民意識調査「市政情報の入手によく利用する情報媒体」

情報媒体	割合
広報にっしん	87.6%
回覧板	42.0%
新聞	17.5%
市のホームページ	14.0%
口コミ	9.0%
にっしんテレビ	3.8%
その他	1.3%
市のFacebookページ	0.6%

第4 他市の取組状況

4 他市の取組状況一覧

	日進市	尾張旭市	長久手市	豊明市
広 報	月1回	月2回	月1回	月1回
ホームページ	あり	あり	あり	あり
動 画 ※下段委託先	あり 地元ケーブル局	あり 地元ケーブル局	あり 地元ケーブル局	なし
動画内容	市事業紹介 イベント情報紹介	市事業紹介 イベント情報紹介	市事業紹介 イベント情報紹介	なし
YouTube 登録者数	147人	109人	-	-
SNS	・フェイスブック ・ツイッター	・フェイスブック	・フェイスブック ・ツイッター	・フェイスブック ・インスタ

第5 課題

5 課題①

【課題①】 …… 市政情報の入手先として動画、フェイスブックページの割合が低く、新たなツールの発掘が必要

【課題②】 …… 動画は、シティプロモーション要素と市政情報提供要素が内容に混在。ターゲット層を明確にする必要がある

【課題③】 …… 動画は他の媒体と比べて、費用対効果が低いのでは？

5 【課題①】

【成果指標】市民意識調査「市政情報の入手によく利用する情報媒体」

情報媒体	割合
広報につしん	87.6%
回覧板	42.0%
新聞	17.5%
市のホームページ	14.0%
口コミ	9.0%
につしんテレビ	3.8%
その他	1.3%
市のFacebookページ	0.6%

「広報につしん」は情報入手先として認識され、定着している。
一方、「につしんテレビ」「市Facebookページ」は数%と、情報入手媒体として普及していない。

5 課題②

【課題①】 ……市政情報の入手先として動画、フェイスブックページの割合が低く、新たなツールの発掘が必要

【課題②】 ……動画は、シティプロモーション要素と市政情報提供要素が内容に混在。ターゲット層を明確にする必要がある

【課題③】 ……動画は他の媒体と比べて、費用対効果が低いのでは？

5 課題

【課題②-1】

動画内容に、シティプロモーション要素と市政情報提供要素が混在。視聴対象が明確でないため、視聴数が低迷。

	タイトル	視聴数
1位	小規模保育所ってなあに？	10,409回
10位	あじさいコンサート ～やさしい街で暮らしたい～	655回
40位	新春対談企画 日進の地域ブランドを探る	273回

内容によって動画の視聴回数に大きく差がある…

➡ 動画内容を一考すべき

5 課題

【課題②-2】

動画が最後まで視聴されず、知ってもらいたい情報が伝わっていない。

	タイトル	放送時間	平均視聴時間
1位	小規模保育所ってなあに？	10:00	2:18
2位	岩崎城の戦い	10:00	2:36
3位	便利になった？くるりんばす！	10:00	4:13

視聴回数が高い内容(タイトル、画像で見ようと思った動画)であっても、平均すると半分も視聴されていない・・・

➡ 動画の再生時間が長すぎるのでは？

5 課題③

【課題①】 ……市政情報の入手先として動画、フェイスブックページの割合が低く、新たなツールの発掘が必要

【課題②】 ……動画は、シティプロモーション要素と市政情報提供要素が内容に混在。ターゲット層を明確にする必要がある

【課題③】 ……動画は他の媒体と比べて、費用対効果が低いのでは？

5 課題

【課題③】

広報紙、ホームページと比べて動画の費用対効果、情報周知効果が低い。

【各媒体ごとに要する経費】

- 広報紙 2,000万円/年 発行部数 39,000部/月 472,540部/年
(※広告収入と相殺すると経費1,800万円)
- 動画 800万円/年 製作本数 24本/年
- ホームページ 160万円/年 修正・更新回数 3,289回/年
(※バナー収入と相殺すると経費ゼロ)

【普及効果】

- 広報紙…全世帯に配布 ●動画…登録130人
- ホームページ…ページビュー 約1万ページ/日

5 課題③【参考】動画に要する経費

	日進市	尾張旭市	長久手市	生駒市 (奈良県)
委託先	地元ケーブルテレビ局	地元ケーブルテレビ局	地元ケーブルテレビ局	個人
契約方法	随意契約	随意契約	随意契約	随意契約
予算	約800万円/年 ※放送含む	約460万円/年 ※放送含む	約2,200万円/年 ※放送含む	約15万円/本
制作本数	24本/年	24本/年	50本/年	3本/年
長さ	10分/本	10分/本	20分/本	1~2分/本
チャンネル登録者数	147人	109人	-	476人

第6 今後の取組案

6 今後の取組案

【取組案①】新たな情報媒体を検討・導入します。

一定時間の視聴が必要な「動画」は、短時間での情報提供には不向き。現在使っているSNSの活用法を整理しつつ、情報が必要な人が、「好きな時間」に「短時間」で「簡単」に情報入手できる、媒体、手法を検討していく。※LINE@など

【効果①】情報が簡単に入手できます。

6 今後の取組案

【取組案②】動画仕様(長さ・内容など)を変えます。

動画のコンセプトを明確にする。

例) シティプロモーション動画

例) 字幕のある動画

映像の長さを再考する。

例) 10分→2分

【効果②】伝えたい情報が確実に届きます。

6 今後の取組案

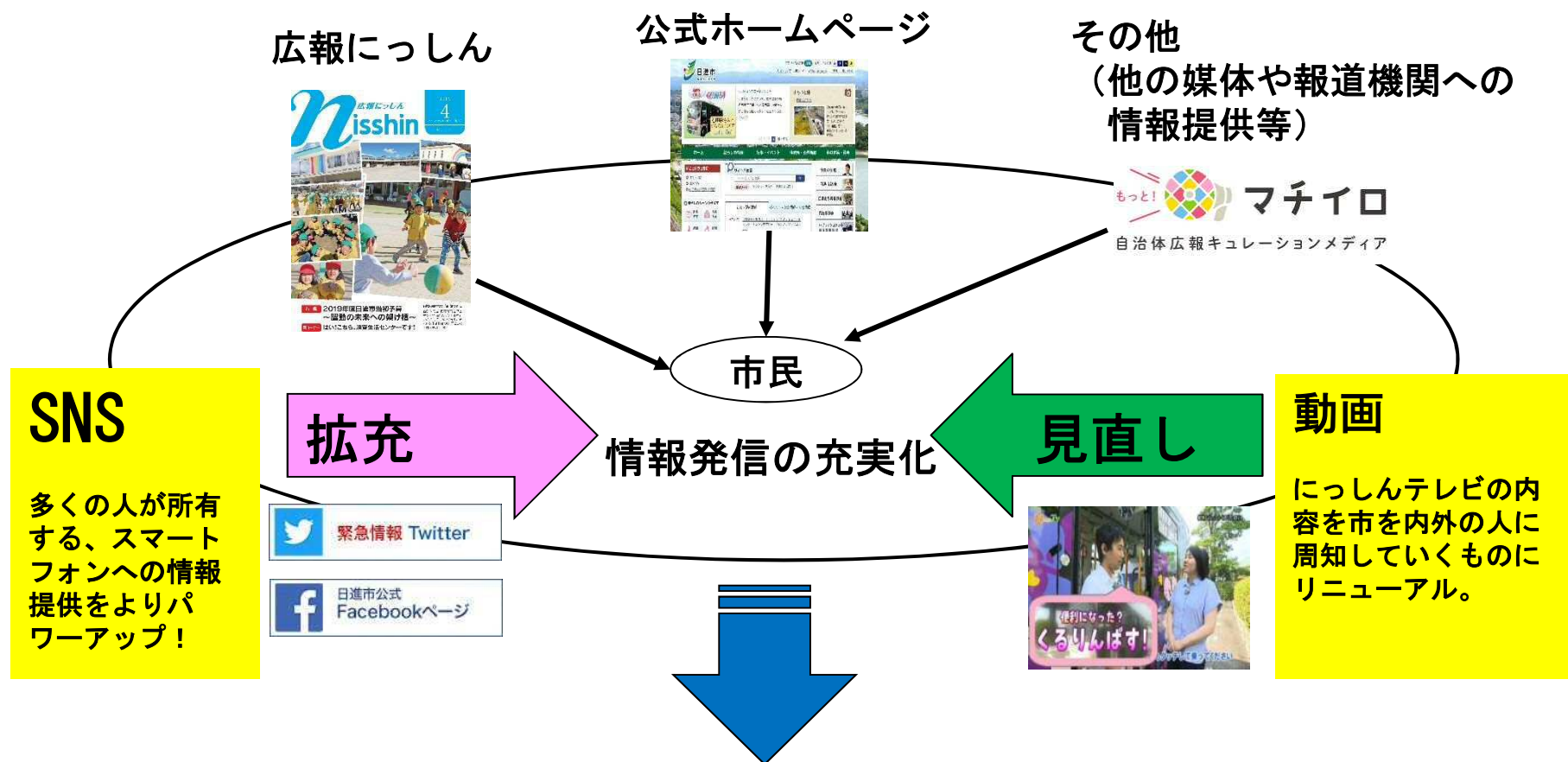
【取組案③】動画の制作方法を変更します。

職員が企画・立案し、撮影のみ専門家に頼むことで、配信する動画の水準を落とさず、費用の削減につながる。

【効果③】費用対効果が高まります。

6 今後の取組イメージ

発信したい情報によって、得意な媒体を使用。
動画は「シティプロモーション」向けにリニューアル



市民の皆さん、市外で日進市の情報を求めている人に
確実に情報を届けます！

第7 おわりに

7 おわりに

- ★・・・映像番組の内容を特化するべきか？
- ★・・・費用対効果を高めるためには？
- ★・・・効果的な情報提供方法とは？

などについてご意見をいただけますと幸いです。